

公明党千葉市議会議員団 議会報 美浜区版



小さな声を形に！伊藤こうへい通信

第3回定例会 代表質疑より

資源の活用と循環型社会の推進 ～温室効果ガス削減への取り組み～

地球温暖化対策を推進する上で、温室効果ガス排出量の削減は、大切な施策となります。

取り組みの一つである資源循環について、97万市民の生活を陰で支える下水道関連対策である、農業集落排水・浄化槽・公共下水を統合することで、事業費と維持管理費の圧縮が図られ、社会的資源である汚泥を集約し資源を有効に活用することで温室効果ガス削減にもつながります。

そこで、千葉市の取り組みを確認しました。

こうへい 康平議員 千葉市に10地区ある農業集落排水処理区。それぞれが小規模ながら処理施設をもっている。これらを再編し、公共下水道に接続することで、事業費や維持管理費の圧縮につながることを提案し求めてきました。将来構想を含めて伺います。

かみや 神谷市長 農業集落排水施設は、供用開始から概ね30年が経過し、一部では耐用年数が過ぎていなど老朽化が進んでいます。今後、老朽化する施設の維持費や改築更新にかかる経費が増大し、人口減少に伴う使用料収入の減少が見込まれます。

本年3月に策定した再編計画では、公共下水道へ接続し、処理施設の廃止を令和18年度末の完了を目途に進めています。これにより、処理場を個別に改築更新した場合と比較して、約5億8,000万円の事業費縮減と、再編後は年間約4,000万円の維持管理費の縮減を見込んでおります。公共下水道との連携による業務の効率化と相まって、合理的かつ経済的な事業運営が図れます。

また、汚水処理が効率的に集約され資源を有効活用できるなどの効果も期待できます。さらなる再資源化に向けて事業を推進してまいります。

温室効果ガス削減へのアプローチ ～行動変容と情報発信～

地球温暖化について、国連の気候変動に関する政府間パネル＝IPCCは「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地はない」とし、地球環境の広範囲かつ急速な変化が現れていると警鐘を鳴らしています。

こうへい 康平議員 千葉市においても、地球温暖化対策実行計画を策定し取り組まれておりますが、国が示す目標値には遠く及ばない現状です。今後の対策も含めた脱炭素社会に向けた取り組みについて伺います。

公明党千葉市議会議員団を代表し、市民の皆様の“声”を議会で訴えました。

代表質疑の主な取り組みについてご紹介します。



千葉市南部浄化センターにある発電設備。
(市職員から説明を受ける伊藤こうへい議員)

かみや 神谷市長 2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを実現するためには、2030年までの取り組みが重要です。市民が脱炭素の重要性を理解し、建物や車・公共交通機関などの脱炭素化、再エネの活用など、これまでのあり方を見直すマクロの視点、節電・節水、マイバックなどのミクロの視点も重視する必要があります。皆様のご理解とご協力頂きながら取り組みを推進します。

こうへい 康平議員 市民への行動変容を促すアプローチを具体的に検証し推進することについて伺います。

かみや 神谷市長 市民へのアプローチに際しては、内容の充実とスピード感が重要と考えております。また、取り組みの成果を検証し、次の施策に繋げることも不可欠です。

さらには、行動変容に繋がったかのアンケートやCO₂削減の定量的な分析など、効果の検証を実施し取り組みを強化して参ります。



EV車
新港清掃工場充電設備千葉市所有

代表質疑各論

他の項目については『伊藤こうへい』ホームページをご覧ください。

教育委員会質疑 —学習用机・椅子の計画的更新—

児童生徒が最も身近に使用する学校の学習机と椅子については、老朽化が著しいものが散見され、計画的な更新が見過ごされてきたことは否めません。教科書の他にも、副教材やワークシート、タブレット端末など使用することで、卓上の物理的スペースが足りなくなっており、学習環境の改善が必要です。



耐用年数の過ぎた机や椅子。先生が拭き掃除を行い大事に使用している。

こうへい 康平議員 将来を見据えた計画的な更新が必要と考えますが、今後の対応について問う。

教育長 約8万5千台ある学習用机と椅子のうち約7割が20年以上使用しています。

計画更新が出来ていないことから、20年を目安に更新する計画策定に向け早急に検討を進めてまいります。

こうへい 康平議員 正しい姿勢で学習することや物理的スペースの確保は重要です。手狭になった学習用机対策について問う。

教育長 机上の物理的スペースの改善等、学習環境を整えていくことも重要であると考えております。児童生徒数の動向を踏まえながら、面積が広い新規格の学習机への交換や天板を拡張するための器具の導入等について検討してまいります。



会派で現場を視察。古くなった机や椅子も多く、適切な時期に更新されて来なかったことがうかがえます。

病院事業質疑 —市立病院女性専用外来の再開を要請—

これまで、会派で要望してきた女性専用外来が平成16年に千葉市で初めて青葉病院で開設され、平成23年には海浜病院にも開設されました。

ところが、令和元年に海浜病院、令和3年には青葉病院で休止となっており、女性が体調の不安を覚えながら、男性医師に相談することへの心理的抵抗感などから受診を先延ばして症状を悪化させてしまうケースも多いとも言われています。再開について確認しました。

病院事業管理者

女性専用外来には、体の不調だけでなく、社会生活や家庭生活に起因する精神的不調など多く寄せられています。このため、青葉病院では既存人員のスキルの習得を進め、海浜病院におきましても、新病院に向けて体制の整備に努め、女性専用外来が安定的に運営できるよう目指してまいります。

代表質疑後青葉病院 一部再開決定！

【診察日時】 完全予約制
第3火曜日 14:00～

【予約方法】 電話で予約
患者本人・医療機関

【連絡先】 青葉病院 地域連携室
電話：043-227-1994
予約受付 平日9時から16時

Topic

市民局

自治会集会所の耐震性確保対策

災害時の分散避難体制構築に向け、改正された補助制度の周知を強化し、活用してもらうことが重要です。

- ☆修繕等の補助限度額の増額
- 【修繕】60万円 (対象経費の2分の1以内)
- 【耐震診断】10万円 (対象経費の3分の2以内)
- 【耐震改修】120万円 (対象経費の2分の1以内)

お問い合わせ
市民自治推進課
電話：043-245-5138

経済農政局

就職氷河期世代支援

就職氷河期世代への事業展開について明らかとなった千葉市の新たな施策についてご紹介します。

- 【対象者】○概ね35～50歳
- 【支援内容】○就職セミナー
○インターシップガイダンス
○インターシップ実施
○受入企業への準備金

お問い合わせ
経済部 雇用推進課
電話：043-245-5278

保健福祉局

選挙公約実現へ一歩前進

美浜区だけ設置が遅れていた『生活自立・仕事応援センター』が美浜区保健福祉センター内の早期設置に向けて動き始めました。

生活自立・応援センターとは？
千葉市にお住まいで経済的・社会的自立のために就労や家計の改善を希望される方。

お問い合わせ
保健福祉局 保護課
電話：043-245-5188

市政に関するご意見ご要望をお寄せください。

〒261-0001
千葉市美浜区幸町2-6-1-408

千葉市議会議員

伊藤こうへい

Tel/Fax.
043-301-3841